九州地方

名前

問1　かつて官営八幡製鉄所を中心に鉄鋼業の拠点として発展した福岡県北部の港周辺では、大きな産業構造の変化が見られます。1970年と2015年の輸出品目を比較した資料によると、1970年には鉄鋼が輸出額の第1位でしたが、2015年には半導体等電子部品が第1位となっています。このような特徴を持ち、周辺では工場跡地の再開発によってテーマパークなども建設されている港はどこですか。（2017年 東京都公立入試 類似）

1. 富士港
2. 成田国際空港
3. 北九州港
4. 名古屋港

問2　鹿児島県や宮崎県などを中心に、肉用牛や豚、鶏などの飼育が盛んな地域が九州地方です。この地方の農業産出額における品目別割合において、最も大きな割合を占めている部門はどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. 果実
2. 米
3. 畜産
4. 野菜

問3　九州地方北部に位置し、多くの半島や島々からなる複雑な海岸線を持ち、雲仙岳などの火山が分布する地域で行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 冬の多い積雪と豊富な地下水を活用した、大規模な水田単作経営
2. 海岸沿いに広がる広大な砂丘を利用した、スプリンクラーによる果樹栽培
3. 「やませ」の影響による冷害を克服するために発達した、稲作と野菜の輪作
4. 年間を通した温暖な気候を利用した、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作

問4　九州地方南部に位置し、薩摩半島側の沿岸部に石油備蓄基地が立地している県について、その交通環境や都市整備に関する記述として最も適切なものを選択してください。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。
2. 石油備蓄基地のある西側の半島には鉄道が一切通っておらず、主要な交通手段は船舶のみに限られている。
3. 県庁所在地では地下鉄網が発達しており、路面電車はすべて廃止され、バスの利用も極めて少ない。
4. 2004年に九州新幹線が開通したが、県庁所在地周辺にシラス台地は存在せず、すべて平坦な低地に住宅地が広がっている。

問5　九州地方の農業について述べた次の文のうち、鹿児島県の農業産出額の構成的特徴を正しく説明しているものはどれか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）

1. 平坦な筑紫平野を中心に稲作が行われ、農業産出額の半分以上を米が占めている。
2. 有明海沿岸の干拓地を中心に、クリークを活用した麦と米の二毛作が農業産出額の柱となっている。
3. 農業産出額の約6割を畜産が占めており、特に豚や肉用牛の生産が全国有数の規模である。
4. 宮崎県と同様に、平野部における野菜の促成栽培が産出額の大部分を占めている。

問6　沖縄などの南西諸島に見られる伝統的な家屋では、家の周囲を丈夫な石垣で囲む工夫がなされています。このような造りになっている主な理由として、地域の自然環境の特徴と関連付けて説明したものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 夏から秋にかけて頻繁に接近・上陸する台風による激しい風から家屋を守るため。
2. 冬の季節風によって運ばれてくる大量の積雪から家屋が押しつぶされるのを防ぐため。
3. 標高が低く、周辺の河川が氾濫した際に浸水被害を最小限に食い止めるため。
4. 近くにある大規模な飛行場などの軍事基地から発生する激しい騒音を遮断するため。

問7　九州地方の南部に広がる「シラス台地」では、土地の性質上の理由から古くより大規模な稲作を行うことが困難でした。このような地理的条件を背景として、この地域で特に発展した農業の形態を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）

1. 冬でも温暖な気候を活かし、平野部全体にビニールハウスを設置してメロンの促成栽培に特化した。
2. 土壌が肥沃で水もちが良いため、大型機械を導入した大規模な米の単作が行われるようになった。
3. 夏の冷涼な気候を活かして、レタスやキャベツなどの高原野菜を栽培するようになった。
4. 水はけが良すぎるという土地の性質を考慮し、牛や豚、鶏などを育てる畜産が盛んになった。

問8　ある都道府県の農業統計において、年間の農業産出額が約4,772億円に達し、その部門別割合を見ると畜産が65.4%と極めて高い数値を示しています。また、1農家当たりの耕地面積は約2.37ヘクタールであり、肉用牛の飼育が特に盛んなこの都道府県はどこですか。（2024年 山口県公立入試 類似）

1. 鹿児島県
2. 北海道
3. 富山県
4. 宮崎県

問9　九州地方の各県の産業について述べた次の説明のうち、宮崎県と福岡県の特徴を正しく組み合わせたものはどれですか。（2023年 三重県公立入試 類似）

1. 宮崎県は平野部を中心に稲作が盛んで米の産出額が九州で最も多く、福岡県は畜産が県内の農業の大部分を占めている。
2. 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。
3. 宮崎県は工業出荷額が九州地方の中で最大規模であり、福岡県は農業産出額において米の産出額が畜産を上回っている。
4. 宮崎県と福岡県はともに農業産出額のうち米の割合が最も高く、工業については佐賀県の出荷額が九州で最大である。

問10　九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。（2019年 三重県公立入試 類似）

1. 甲府盆地
2. カルデラ
3. 筑紫平野
4. シラス台地

問11　九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. シラス台地
2. 扇状地
3. 三角州
4. カルデラ

問12　九州南部のシラス台地では、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および豚や鶏などの畜産が盛んに行われてきました。このように土地が利用されてきた理由を、地形や土壌の観点から説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

1. 標高が高く一年を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足しているから。
2. 台地が平坦ではなく急斜面が多いため、大規模な水田を整備する物理的な余地がないから。
3. 土壌に塩分が蓄積しやすい性質があり、塩害に弱い稲の栽培には適していないから。
4. 土壌が火山灰や軽石を多く含み水はけが良すぎるため、水田に必要な水を確保しにくいから。

問13　宮崎平野などの九州地方の太平洋側では、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の促成栽培が盛んです。この地域に温暖な気候をもたらしている海流の影響について、最も適切な説明はどれですか。（2024年 徳島県公立入試 類似）

1. 千島列島から南下してくる寒流である親潮の影響で、夏でも気温が上がりにくいため。
2. シベリア沿岸から南下する寒流であるリマン海流が、冬に乾燥した暖かい風を送り込むため。
3. 対馬海峡を抜けて日本海を流れる対馬海流が、太平洋側に熱を運んでいるため。
4. 赤道付近から北上してくる暖流である黒潮の影響で、冬の気温が下がりにくいため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 北九州港	福岡県北部に位置するこの地域は、明治時代の官営八幡製鉄所の操業開始以来、北九州工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。しかし、時代の変化とともに産業の主役が鉄鋼業から半導体や医療機器などの高付加価値製品へと移り変わっており、これを産業構造の変化と呼びます。広大な工場跡地はスペースワールド（現在は閉園し、新たな施設へ移行）などのテーマパークや商業施設に活用される再開発が行われてきました。
問2	答え 3 畜産	九州地方ではシラス台地などの地形や温暖な気候を生かして、鹿児島県や宮崎県を中心に肉用牛や豚、鶏などを育てる産業が発達しています。そのため、農業産出額の品目別割合においても畜産の占める割合が最も大きくなっています。
問3	答え 4 年間を通した温暖な気候を利用した、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作	長崎県は平地が少なく、傾斜地や島々が多いという地理的制約がありますが、年間を通じて温暖な気候に恵まれています。この気候を活かして、春と秋の年2回収穫を行う「ばれいしょの二毛作」や、びわ・みかんなどの果樹栽培が盛んに行われています。選択肢にある「やませ」は東北地方で見られる現象であり、積雪や砂丘の利用も長崎県の主な特徴とは合致しません。
問4	答え 1 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。	鹿児島県では、ヒートアイランド現象の緩和や景観向上を目的として、路面電車の軌道敷を芝生で緑化する事業が行われています。また、県庁所在地である鹿児島市周辺には火山噴出物が堆積してできたシラス台地が広がり、そこを切り開いて大規模な住宅地が造成されてきました。2004年の九州新幹線の新八代ー鹿児島中央間の先行開業以降、交通の利便性が大きく向上しています。
問5	答え 3 農業産出額の約6割を畜産が占めており、特に豚や肉用牛の生産が全国有数の規模である。	鹿児島県は全国でも有数の農業県ですが、その内訳は畜産に特化しているのが特徴です。豚の飼養頭数や肉用牛の飼育頭数、ブロイラー（鶏）の生産量は全国トップクラスであり、農業産出額の統計においても畜産の割合が圧倒的に高くなっています。選択肢にある野菜の促成栽培は宮崎県や高知県、二毛作や稲作中心の形態は福岡県や佐賀県に見られる特徴です。
問6	答え 1 夏から秋にかけて頻繁に接近・上陸する台風による激しい風から家屋を守るため。	沖縄県を含む南西諸島は、夏から秋にかけて「台風の通り道」と呼ばれるほど頻繁に台風が接近・上陸する地域です。激しい風雨による被害を最小限に抑えるため、伝統的な家屋では屋根の瓦を漆喰で固めたり、家の周囲をサンゴ礁の岩石などで作った丈夫な石垣で囲ったりするなどの強風対策が取られてきました。軍事基地の騒音対策や積雪対策は、この地域の伝統的な家屋構造の主な理由とは異なります。
問7	答え 4 水はけが良すぎるという土地の性質を考慮し、牛や豚、鶏などを育てる畜産が盛んになった。	鹿児島県や宮崎県に広がるシラス台地は、火山灰が積もってできた地層であり、水が地中にしみ込みやすく水田への利用が難しいという課題がありました。そのため、サツマイモなどの畑作や、広大な土地を必要とする畜産が主要な産業として発展しました。現在、鹿児島県は肉用牛や豚の飼育頭数で日本有数の規模を誇っています。
問8	答え 1 鹿児島県	農業産出額の過半数を畜産が占めている点は、鹿児島県農業の最大の特徴です。北海道も大規模な農業を行っていますが、1農家当たりの耕地面積や、シラス台地という地形的特徴に基づいた畜産への特化という文脈から鹿児島県が判断されます。肉用牛、豚、鶏のいずれも全国トップクラスの生産量を維持しています。
問9	答え 2 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。	九州地方南部では、シラス台地などの地形的条件を活かした畑作や畜産が発展しており、特に宮崎県は肉用牛、豚、鶏などの畜産業が農業産出額の多くを占めているのが特徴です。一方、九州地方北部の福岡県は、北九州工業地帯やその周辺の自動車産業などの集積により、九州で最も大きな工業出荷額を記録しています。佐賀県は九州の中では比較的、農業産出額に占める米の割合が高いという特徴がありますが、工業出荷額が最大なのは福岡県です。
問10	答え 4 シラス台地	九州地方南部には、過去の火山活動に由来する火砕流堆積物が広範囲に分布しています。この白っぽい砂状の土壌からなる台地は、水はけが非常に良く水持ちが悪いため、かつては稲作に不向きな土地とされてきました。そのため、現在でもサツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産が盛んな地域となっています。
問11	答え 4 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴き出し、その後に地表が陥没したり、浸食を受けたりすることで、円形に近い巨大なくぼ地が形成されます。阿蘇山はこのカルデラの中に集落や田畑、鉄道が広がっている世界的にも珍しい地域です。選択肢にあるシラス台地は火山灰が堆積してできた台地であり、地形の形状や成り立ちが異なります。
問12	答え 4 土壌が火山灰や軽石を多く含み水はけが良すぎるため、水田に必要な水を確保しにくいから。	シラス台地の土壌は火山の噴出物で構成されているため、水持ちが悪く、常に水を張っておく必要がある水田には向いていません。そのため、乾燥に強いサツマイモや、排水を好む茶などの畑作が発展しました。また、栽培された飼料作物を利用した肉用牛、豚、鶏などの畜産業も、この土地の特性を活かした産業として大規模に展開されています。
問13	答え 4 赤道付近から北上してくる暖流である黒潮の影響で、冬の気温が下がりにくいため。	九州地方の南東部を流れる黒潮（日本海流）は、暖かい海水を持つ暖流です。この海流の熱が周囲の空気を温めるため、宮崎県などでは冬でも雪が少なく、氷点下になりにくい温暖な気候となります。この環境を活かして、ピーマンやきゅうりなどの出荷時期を早める促成栽培が発達しました。